

フューチャー・バイオテック

追加型投信／内外／株式



- 資料の作成、設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

テクノロジーがもたらす医療の革新

2003年、DNAの「二重らせん構造」が解明されてからちょうど50年を経て、ヒトの全遺伝情報(ゲノム)を解読する「ヒトゲノム計画」は完了し、病気の予防や診断・治療に、新しい世界が切り開かれた。

それから、さらに17年…

AI・ビッグデータ・ロボティクス等のテクノロジーの急速な発展によって、医療分野は劇的な進化を遂げている。

いまや、AIやビッグデータを、創薬、遺伝子治療に活用する動きが進み、さらに、ロボティクスやナノテクノロジーを用いた治療法の進歩によって、「がん」などの難病が克服可能となる時代が到来しようとしている。

1920年代
ペニシリン発見



1950年代
DNAの「二重らせん構造」の解明

1980年代
「ヒトインスリン」生産に成功

1990年代
世界初の個別化分子標的薬生産に成功

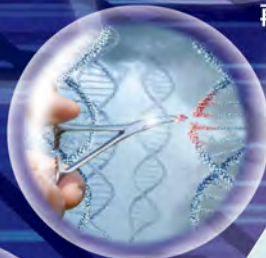


2000年代
「ヒトゲノム計画」完了

2010年代
「ゲノム編集技術」の革新



AI創薬



遺伝子治療



再生医療



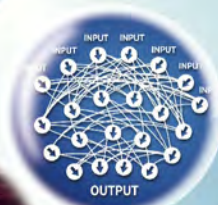
AI



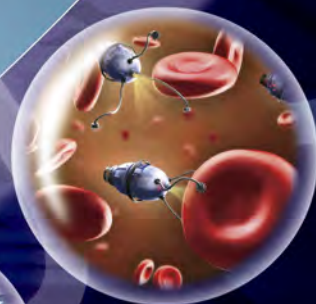
手術支援ロボット



個別化医療



ビッグデータ解析
IoT



ナノテクノロジー

2030

2020

バイオテクノロジーとは、
「バイオロジー(生物学)」と「テクノロジー(技術)」を組み合わせた造語

今まさに、
バイオテクノロジーが、
最新のテクノロジーとの融合によって、
驚異的な変革をもたらしていくこと

それが、

“Bio is the new digital”

「バイオイズ ザ ニュー デジタル」

※マサチューセッツ工科大学メディアラボの共同創設者ニコラス・ネグロポンテ氏の発言(2016年4月)

バイオ医薬品



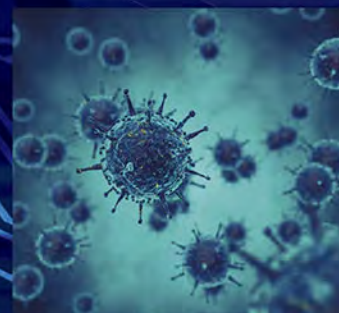
生体由来の材料に
よって作られます。
治療効果が高いこと
が特徴です。

一般医薬品



化学合成により
作られます。
個々人ごとに
効果が異なります。

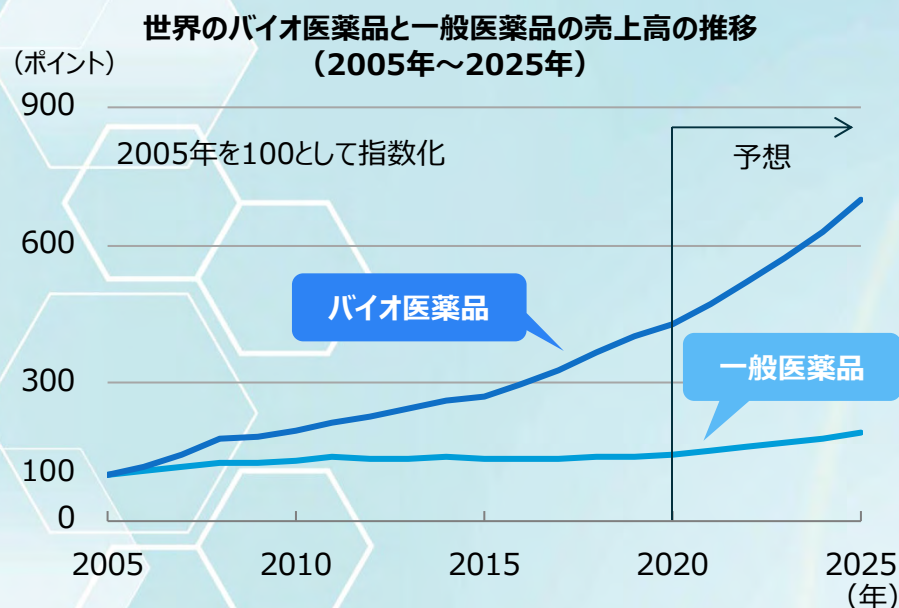
※写真はイメージです。



医薬品市場を席巻するバイオ医薬品

- 近年、医薬品市場において、バイオ医薬品の売上げが大きく伸びています。
- バイオ医薬品には難病への高い効果や、副作用が少ないなど多くのメリットがあることから、世界の医薬品の売上高上位を占めています。

バイオ医薬品が市場を牽引



2019年 売上高	バイオ医薬品	一般医薬品
	2,660億米ドル	6,440億米ドル

医薬品の市場規模について

一般医薬品は、日常的な常備・処方薬として、既に市場が巨大であることに加えて、新興国においても安価で手に入ることから、医薬品市場全体の売上高においては、いまだ多額を占めています。

2019年にはバイオ医薬品が7商品ランクイン

世界の医薬品売上高ランキング（2005年と2019年の比較）

2005年

(億米ドル)

順位	製品名	売上高
1	リピトール	130
2	プラビックス	62
3	エスポー	61
4	ノルバスク	52
5	アドエア	52
6	ネキシウム	46
7	タケブロン	44
8	リポバス	44
9	ジブレキサ	42
10	リツキサン	39

■ はバイオ医薬品

2019年

(億米ドル)

順位	製品名 (製薬会社)	薬効等	売上高
1	ヒュミラ (アッヴィ)	関節 リウマチ	197
2	エリキュース (BMS*/ファイザー)	抗凝固剤	121
3	キイトルーダ (メルク)	抗PD-1 抗体	111
4	レブラミド (BMS (セルジーン))	多発性 骨髄腫	108
5	オブジーボ (BMS/小野薬品)	抗PD-1 抗体	88
6	アイリーア (リジェネロン/バイエル/参天)	加齢 黄斑変性	81
7	イムブルピカ (アッヴィ/J&J)	慢性リンパ 性白血病	81
8	リツキサン (ロシュ/バイオジェン)	非ホジキン リンパ腫	80
9	エンブレル (アムジェン/ファイザー/武田)	関節 リウマチ	72
10	アバスチン (ロシュ/中外製薬)	抗がん剤	71

* BMSはプリストル・マイヤーズ・スクイブ

(注) グラフの2020年以降はEvaluatePharmaによる予想値。
(出所) EvaluatePharma

画期的なバイオ医薬品の開発により飛躍する企業価値

- リウマチは長い間「不治の病」といわれ、痛みを和らげる、症状の進行を遅らせるといった守りの治療が主流でした。
- 2000年以降のバイオ医薬品の登場によって、「日常を不自由なく過ごす」ところまで到達しようとしています。

リウマチ治療の変遷

	～1990年	～2000年	2000年以降
主な治療	痛みを和らげる 対症療法	症状の進行を 遅らせる	寛解（かんかい）－完治までにはいかな ないが、症状が治まっておだやかになる
代表的な 薬品名	ボルタレン ロキソニン等	メトトレキサート	ヒュミラ エンブレル レミケード

上記3種が
抗リウマチ薬に占めるシェア（2019年）
57%（322億米ドル）

リウマチに対し、抜群の効果を発揮する「ヒュミラ」



（注）右グラフのデータは2013年1月末～2020年7月末。

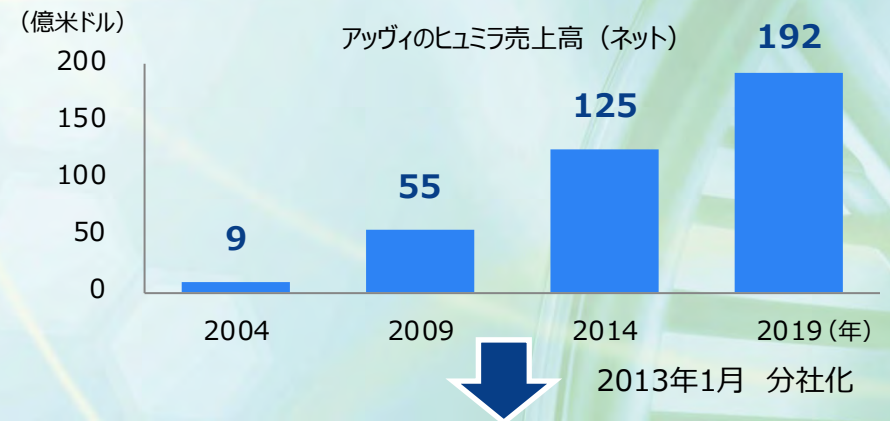
（出所）EvaluatePharma、新ファルマ・フューチャーNo.25、アボットラボラトリーズ、アヅヴィ、Bloomberg、各種資料

※個別銘柄に言及していますが、例示を目的とするものであり、当ファンドにおいて当該銘柄に投資するとは限りません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。

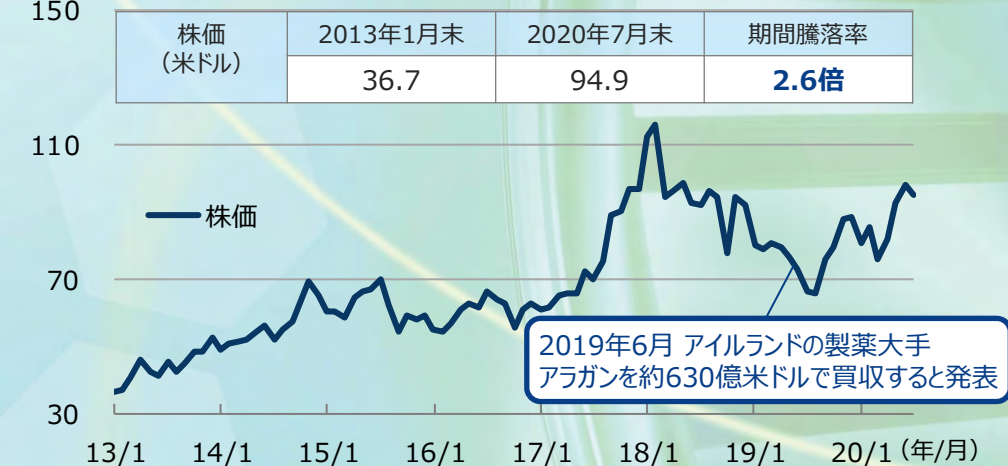
※上記のデータは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

世界最大の売上高を誇る「ヒュミラ」を販売するアヅヴィ

アヅヴィは、米国で約130年の歴史を持つ製薬大手アボットラボラトリーズの新薬部門がヒュミラ等の新薬開発の成功により分社化し、2013年にバイオ医薬品企業として誕生。



大型買収を発表、更なる成長を図るアヅヴィ



新技術により開発スピードが高まるバイオテクノロジー

- 近年、再生医療や遺伝子操作の分野において、大きな技術革新が起こっています。
- 従来の技術を大きく上回るスピードや精度での操作に加え、コストダウンが進んでいます。

再生医療の革新

従来の技術



ES細胞

主に動物の受精卵から作製される多能性幹細胞。再生医療の道をひらいた功績から、2007年ノーベル生理学・医学賞を受賞。

異なるDNAを持つ他人の細胞から作製されるため、拒絶反応の可能性が高いことに加えて、元々、生命の芽となる受精卵を使用するため、倫理上の問題が多い。

革新的新技術



iPS細胞

人間の皮膚などの体細胞に、4つの遺伝子を導入することにより作製される多能性幹細胞。

自分自身の細胞を用いて作製することが可能なため、拒絶反応が少ないことに加えて、倫理上の問題が起こりにくい。

2012年ノーベル生理学・医学賞を受賞 iPS細胞の作製に成功

皮膚などに成熟した細胞が、他の細胞に成長可能な初期状態に戻るといった発見が生物学の常識を覆したとして世界中を驚かせた。iPS細胞の『i』を小文字にした理由は、当時流行していたiPodのように広く普及してほしいとの願いが込められている。

遺伝子操作の革新

従来の技術



遺伝子組換え

主に細菌を使い、遺伝子に変異を加えることで、元の個体にはなかった新しい性質を持たせる技術。

特定の場所に遺伝子を組み込むまでに、何千～何万回と試行を繰り返し、成功までに時間を要するため、「偶然」に頼る部分が多い。

革新的新技術



ゲノム編集

酵素を利用し、ピンポイントで特定部位の遺伝子に変異を起こすことで、新しい性質を持たせる技術。

ピンポイントに特定の場所を「狙い通り」に操作できるため、極めて精度が高く、応用性にも優れている。

ノーベル賞受賞に最も近い技術 CRISPR-Cas9（クリスパーキャスニン）

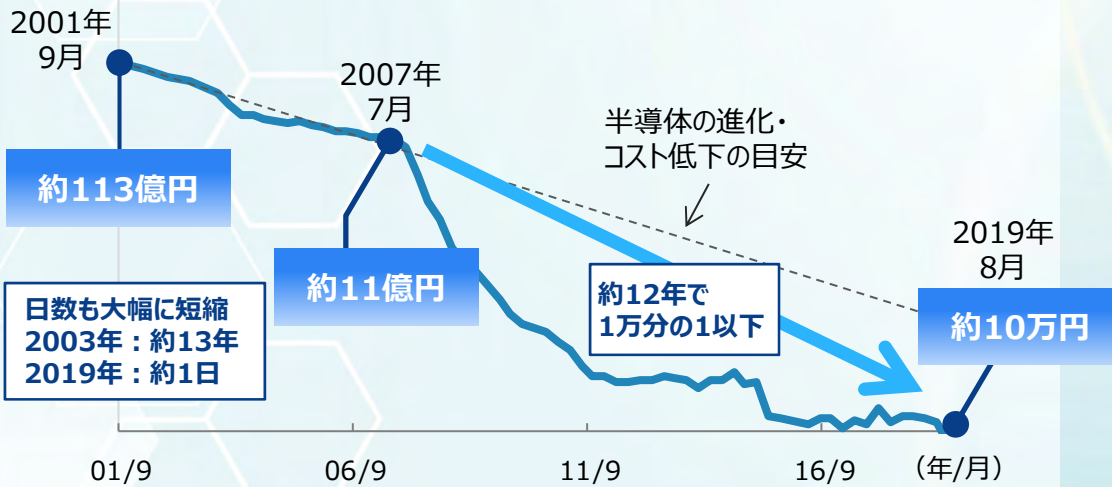
第三世代のゲノム編集技術として、従来の技術とは比較にならないほど、短時間で高効率、低コストで操作を行える。「高校生でも扱える技術」と言われるほど、画期的な編集技術として称賛されている。

驚異的なスピードで進化する遺伝子解析技術

- シーケンサー（遺伝子配列解読装置）の技術革新によって、「より早く」、「より安く」遺伝子解析が行えるようになり、バイオテクノロジー分野の研究・開発スピードは飛躍的に高まっています。

遺伝子解析の革新

ヒトゲノム解析コストの推移（2001年9月～2019年8月）



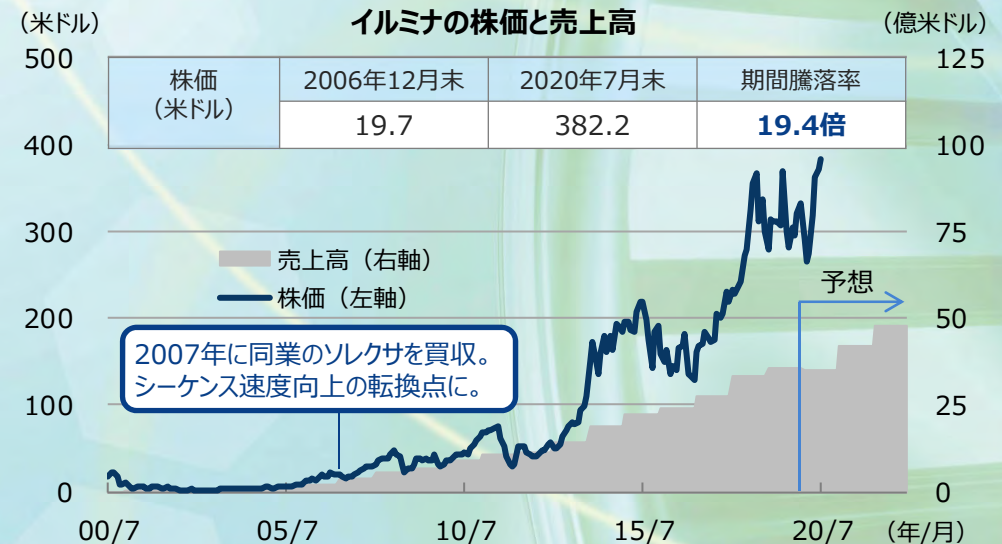
遺伝子とは？

遺伝子は、主にDNAの一部にある、遺伝情報が書かれた部分です。ヒトのDNAには、約2万2千個の遺伝子があるといわれています。



遺伝子解析技術に革新的進歩をもたらしたイルミナ

- 2007年に同業のソレクサを買収して以降、シーケンス処理速度が飛躍的に向上し、遺伝子解析の低コスト・短期化を実現。



※写真はイメージです。

(注1) 左グラフのデータは2001年9月～2019年8月。金額は各時点での米ドル・円為替レートで円換算。

(注2) 半導体の進化・コスト低下の目安にはムーアの法則を使用。半導体の集積率が18ヵ月で2倍になる前提で計算。

(注3) 右グラフのデータは、株価は2000年7月末（上場月）～2020年7月末、売上高は2000年～2022年の年間値。2020年以降は、2020年7月末現在のBloomberg予想。

(出所) National Human Genome Research Institute、Bloomberg、各種資料

※個別銘柄に言及していますが、例示を目的とするものであり、当ファンドにおいて当該銘柄に投資するとは限りません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。

※上記のデータは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

医療機器にも波及するテクノロジー進化の波

テクノロジーの進化で変わる病院の手術室

○これまでの手術室（スーパードクターが活躍）

- ✓ 難病の手術では、卓越した技術を持つスーパードクターが活躍しています。
- ✓ 一方、スーパードクターのような専門医の不足により、優れた医療を受けることができない患者も増加しています。

○診断画像を医師が判断



○熟練の医師が手術を実施



○これからの手術室（スマート手術室に向けた動き）

- ✓ 医師の能力を超えつつあるAIの画像診断をもとに手術が行われます。
- ✓ 全ての医師が手術支援ロボットによってスーパードクターと同等に、正確で患者負担の少ない（低侵襲）手術が行えるようになると期待されています。

AIの画像診断をもとに医師が判断



手術支援ロボットにより手術を実施



医療機器分野に生み出される新たな市場

- AI・ロボティクス技術を用いた医療機器の登場により、これまで一部の地域に集中していた高度先進医療が幅広い地域に普及すると期待されています。
- 医療機器市場の拡大は、医療機器メーカーのみならず大手メーカーにとっても、新たなビジネスチャンスと捉えており、医療機器分野の発展はますます加速することが期待されます。

日本国内企業の参入例

デンソー	手術支援ロボット「iArmS」開発。
川崎重工業	シスメックスとの合併会社で医療用ロボットを開発。
リバーフィールド (東京工業大学発ベンチャー)	東レエンジニアリングなどから資金調達し医療用ロボットを開発。

医療現場に革命を起こした手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”



ダ・ヴィンチの特徴

- ・詳細な**3Dカメラ**
- ・最大で**15倍**のズーム機能
- ・折り鶴を折れるほど**繊細なアーム**
- ・取り付けの医療器具を**カスタマイズ可能**
- ・世界で**5,764台**が設置済み*

* 2020年6月末現在

患者・医師双方にメリット

患者側

- ・出血量が少ない
- ・傷口が小さい

医師・病院側

- ・医師の負担を軽減
- ・技量の均一化が可能



— 日本国内で導入している国立病院および国立大学病院（一部） —

北海道大学病院
国立がん研究センター中央病院
京都大学医学部附属病院

東北大学病院

九州大学病院
東京大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院

(注1) 器具・アクセサリーの金額等は2019年12月末の為替レート（1米ドル＝108.58円）で円換算。1台当たりの器具・アクセサリー収入は2019年の収入総額約24.1億米ドルを2019年12月末の設置台数5,582台で除して算出。

(注2) 右グラフのデータは、株価は2000年6月末（上場月）～2020年7月末、売上高は2000年～2022年の年間値。2020年以降は、2020年7月末現在のBloomberg予想。

(出所) インテュイティブ サージカル、Bloomberg、各種資料

※個別銘柄に言及していますが、例示を目的とするものであり、当ファンドにおいて当該銘柄に投資するとは限りません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。

※上記のデータは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

消耗品・サービス収入が収益の柱に

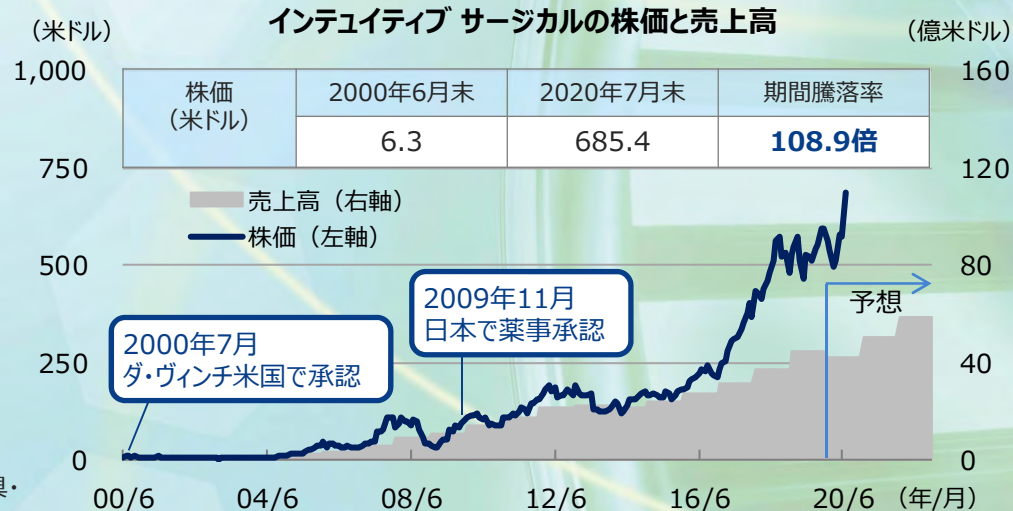
ダ・ヴィンチが稼働し続ける限り生み出される消耗品・サービス収入は、既にダ・ヴィンチ本体の売上を上回っています。

【2019年の収入内訳】

本体の販売 30%	サービス 16%	設置台数に応じた 安定的な収入 器具・アクセサリー 54%
--------------	-------------	--

(ご参考) 器具・アクセサリーの金額：約8～40万円
1台当たりの器具・アクセサリー収入：約4,700万円/年

手術ロボット業界の巨人 インテュイティブ サージカル



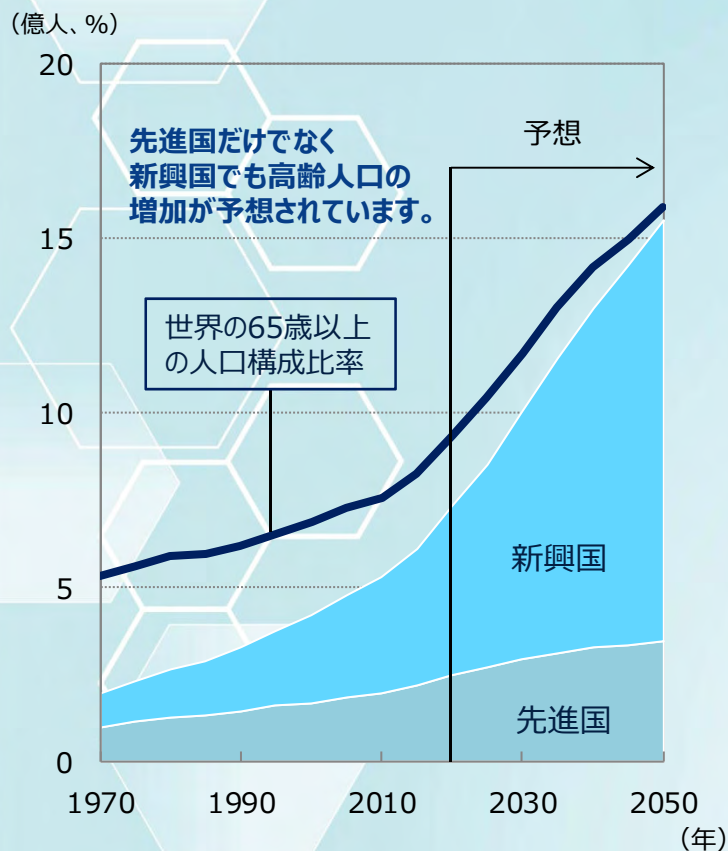
※写真はイメージです。

今後も拡大が予想されるバイオテック市場

- 世界的な高齢化による1人当たり医療支出の増加により、世界的に医療支出の増大が加速していくと予想されています。

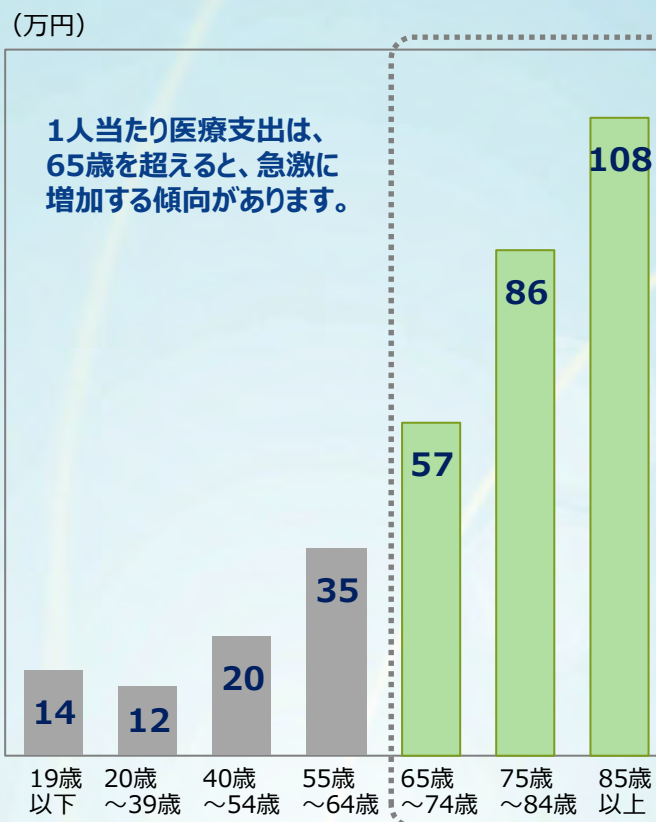
世界的な高齢人口の増加

世界の65歳以上人口の推移（1970年～2050年）



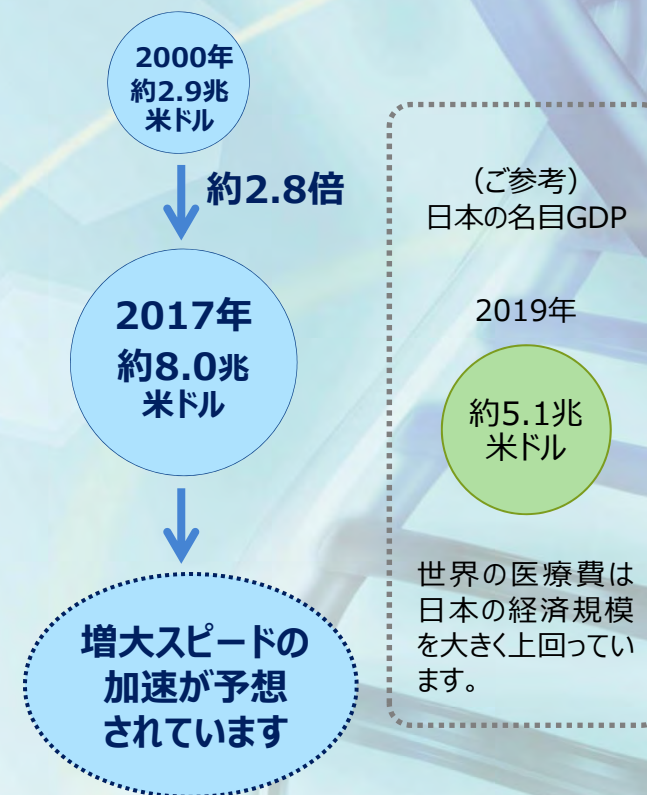
1人当たり医療支出の増加

日本の年齢別1人当たり医療支出（2017年度）



増大が続く医療支出

世界の医療支出（2000年、2017年）



(注) 65歳以上人口の2020年以降は国連の予想。
 (出所) 国連、厚生労働省、世界銀行

新薬の開発や普及を後押しする各国の取組み

開発



米国

2012年、ブレイクスルーセラピー制度を導入。画期的新薬の可能性のあるものを対象に、税制優遇、助成金、経験豊富な審査担当による直接指導など優遇が図られる。



中国

2017年ICH（医薬品規制調和国際会議）に加盟。一定条件のもと、国際的な試験データをそのまま利用できるよう規制を緩和し、承認までの期間を大幅に短縮。



EU

2016年にPRIMEスキームを発足。治療法のない分野に有益な薬剤などを優先審査対象とし、製薬企業を支援。



日本

2015年「先駆け審査指定制度」を導入。画期的新薬候補を開発の早期段階から優先的取扱対象とし、迅速な実用化を目指す。

普及



日本

先進医療の保険適用（2020年4月）

- ・ **ダ・ヴィンチによる手術**の保険適用を、「前立腺がん／腎臓がん／胃がん／肺がん」などの14症状から、新たに「食道がん／拡大胸腺摘出」などを加えた21症状へ拡大。
- ・ **粒子線治療**の保険適用継続。



米国

成功報酬制の導入（2017年8月）

次世代のがん治療薬CAR-T細胞治療薬「**キムリア**」について、効果が出たときのみ患者が費用を負担する**成功報酬型**の支払方法を導入。

（参考）キムリアの薬価：治療1回当たり47万5千米ドル（約5,027万円）*

* キムリアの薬価は2020年7月末の為替レート（1米ドル＝105.84円）で円換算。

（出所）厚生労働省、FDA（米国食品医薬品局）、Bloomberg、各種資料

※上記のデータは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

巨大市場にひきつけられるITの巨人たち

- 世界的な大手IT企業は、有望なバイオテック市場に着目し、莫大な資金力と自社のIT技術を活用し、医療分野に参入しています。

医療分野を狙ったM&Aと投資が加速



医療分野でも覇権を狙うアルファベット (Google)

グーグルのピチャイCEOが開発者向けのイベントで、「AIの有効な活用先」として真っ先に取り上げたのが「医療」でした。

グーグルは既に医療分野に注力しており、2018年4月にはAR (拡張現実) 技術を利用して、がんの検出を支援するAR顕微鏡のプロトタイプを公表しています。

(出所) 各種資料

※個別銘柄に言及していますが、例示を目的とするものであり、当ファンドにおいて当該銘柄に投資するとは限りません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。

※写真はイメージです。

(ご参考) テクノロジーの進化がもたらした医療の革新

- 最新のテクノロジーによって実現した革新的技術をいくつかご紹介します。

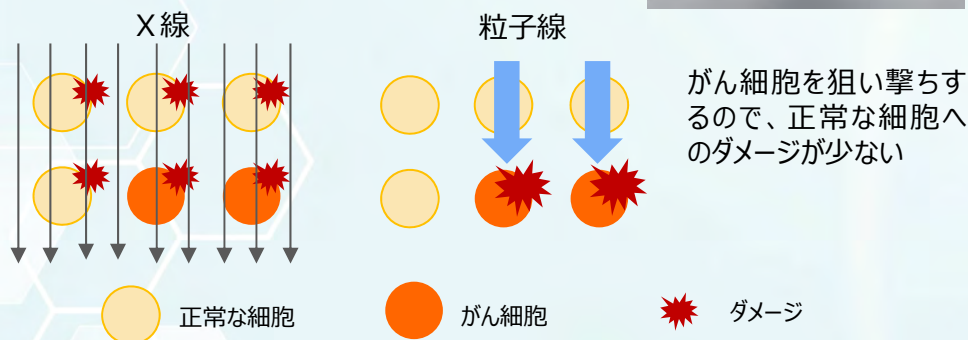
がん治療の革新

X線治療 → 粒子線治療

- 加速させた粒子をピンポイントでがん細胞に照射する粒子線治療が注目されています。
- 従来のX線に比べて細胞破壊力が強いので、治療期間の短縮や照射回数の減少が見込めます。



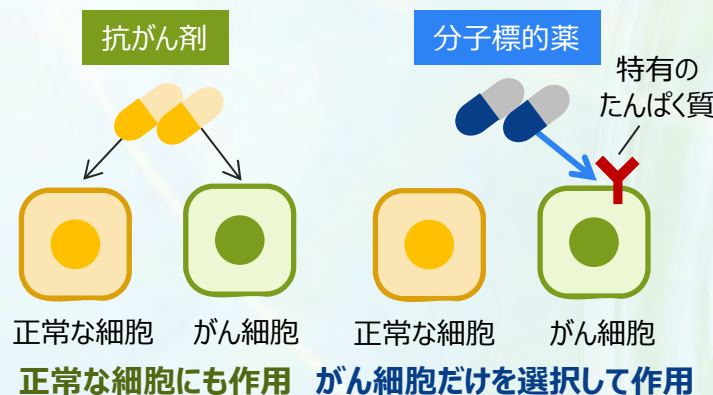
従来のX線と粒子線の違い



抗がん剤 → 分子標的薬

- 「分子標的薬」は、病気の細胞（がん細胞など）の表面にあるたんぱく質や遺伝子をターゲットとして効率よく攻撃する薬として注目されています。
- がん細胞だけを狙い撃ちにするので、正常な細胞へのダメージが少ないという特徴があります。

従来の抗がん剤と分子標的薬の違い



分子標的薬の例

- **アバスチン** (大腸がん他)
- **リツキシサン** (非ホジキンリンパ腫)
- **ハーセプチン** (乳がん)

医療現場の革新

AIドクターの誕生

- 2018年4月、米国で世界初の「AIドクター」が誕生しました。
- これまでのAIの役割は、「医師のサポート」でしたが、このAIドクターは、網膜の画像を「ディープラーニング」を使って自動解析し、眼疾患の診断を自ら行うことができます。



(出所) 各種資料

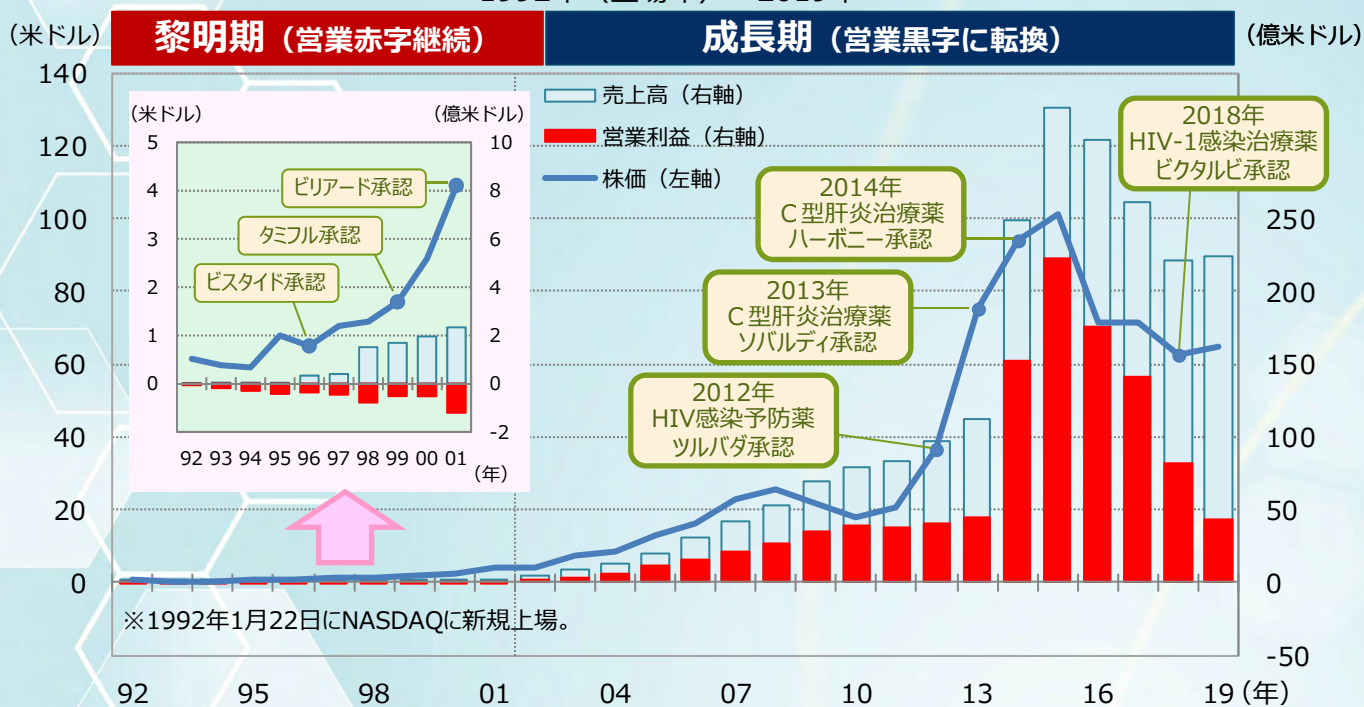
※写真・イラストはイメージです。

(ご参考) バイオ医薬品企業の業績・株価推移について

- バイオ医薬品企業では、上場後の黎明期には新薬の開発投資が先行し継続的な営業赤字に陥るため、株価は新薬の開発状況や売上高の変化に応じて推移する傾向にあります。
- その後、順調に営業黒字に転換し成長期に達すると、株価は営業利益に沿って力強い動きとなっています。一方、新薬開発の失敗や、販売不振に陥り、営業赤字のまま撤退を余儀なくされる企業も存在しています。

順調に成長期に移行できたケース

ギリアド・サイエンシズの株価、売上高、営業利益の推移と主な医薬品の承認状況
1992年（上場年）～2019年



黎明期に破綻したケース



米国

銘柄名	米国破産法第11条申請日	破産法申請理由
オレキシジェン・セラピューティクス	2018年3月	肥満治療薬「コントレブ」の売り上げ不振
ネフロジェネクス	2016年5月	急性腎障害治療薬「ピリドリ」の開発の遅れ
デンドレオン	2014年11月	がんワクチン「プロベンジ」の売り上げ不振

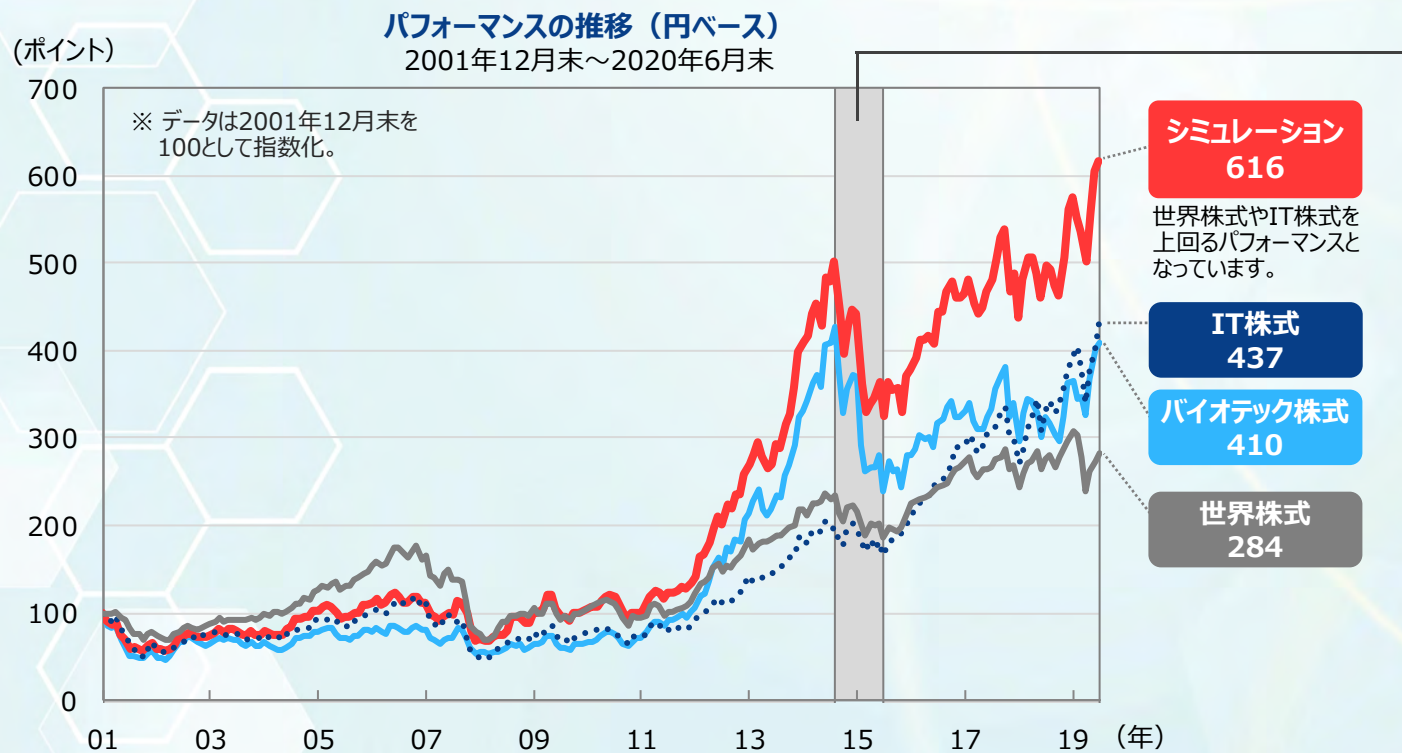
(注) ギリアド・サイエンシズの株価は年末値（ただし、決算期変更前の1992～94年は3月末時点）。売上高、営業利益は12月期決算ベース（ただし、決算期変更前の1992～94年は3月期決算ベース）。
(出所) Bloomberg、ギリアド・サイエンシズ、各種資料

※個別銘柄に言及していますが、例示を目的とするものであり、当ファンドにおいて当該銘柄に投資するとは限りません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。
※上記のデータは過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

当ファンドの運用戦略について

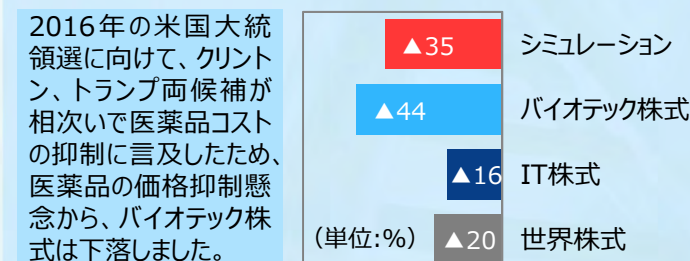
- 当ファンドは、バイオテクノロジー株式戦略*1と医療機器関連株式戦略*2に、基本的に7:3の割合で投資します。

相対的に良好なパフォーマンス（シミュレーション*3）



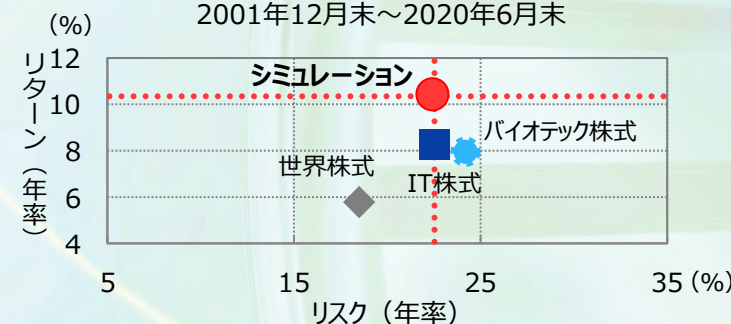
薬価抑制懸念による下落局面での騰落率（円ベース）

2015年7月末～2016年6月末



リスクリターン特性（円ベース）

2001年12月末～2020年6月末



*1 バイオテクノロジー株式戦略は、当ファンドの運用を実質的に担当するカンドリアム・ベルギー・エス・エー（以下、カンドリアム）のバイオテクノロジー株式戦略。詳しくは18ページをご覧ください。
 *2 医療機器関連株式戦略は、当ファンドの運用を実質的に担当するフィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシー（以下、フィデリティ）の医療機器関連株式戦略。詳しくは19ページをご覧ください。
 *3 シミュレーションは、カンドリアムのバイオテクノロジー株式戦略の代表ファンド（Candriam Equities L Biotechnology（米ドル建て））とフィデリティの医療機器関連株式戦略の代表ファンド（Select Medical Technology and Devices Fund（米ドル建て））に、7:3の割合で投資（月次リバランス）したと仮定した場合の当ファンドの信託報酬等控除後のデータを円換算。
 (注) バイオテック株式はNASDAQバイオテクノロジー指数、IT株式はMSCI AC World情報技術指数、世界株式はMSCI AC World指数。いずれも、配当込みの円換算データ。
 (出所) カンドリアム、フィデリティ、Bloomberg

※ 上記は過去のデータを基に行ったシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ ファンド購入時には購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは25ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

基準価額および純資産総額の推移

2018年6月25日（設定日）～2020年7月31日



2020年7月31日現在

基準価額

12,598円

純資産総額

748億円

(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。

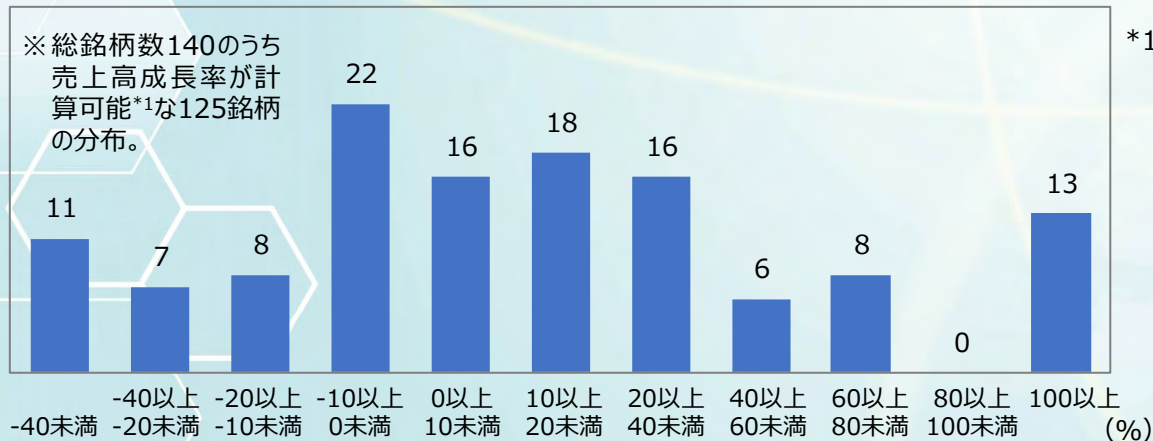
(注2) 当ファンドは、2020年7月31日現在において分配を行っておりません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンド購入時には購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは25ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

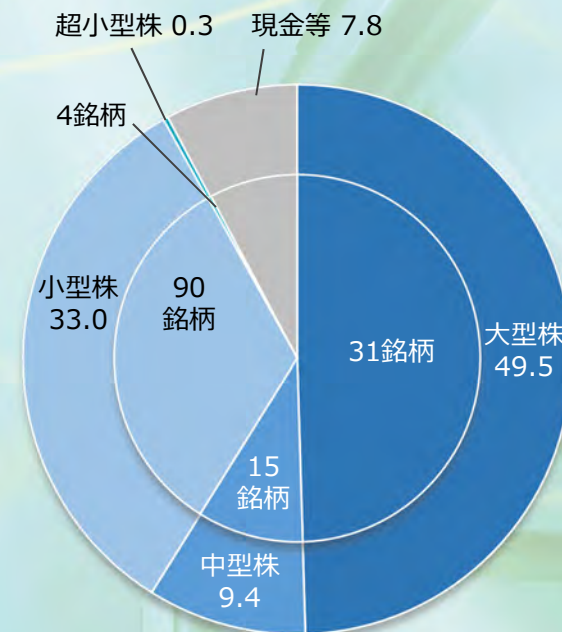
ポートフォリオ (2020年5月末現在)

当期予想売上高成長率の分布 (銘柄数)



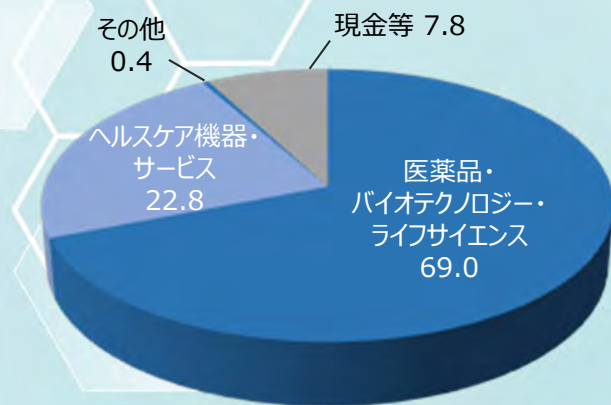
*1 前年度の売上高が0あるいは、2020年5月末現在にBloomberg予想値がない15銘柄については、売上高成長率の計算ができないため除外。

規模別*2構成比率 (%)

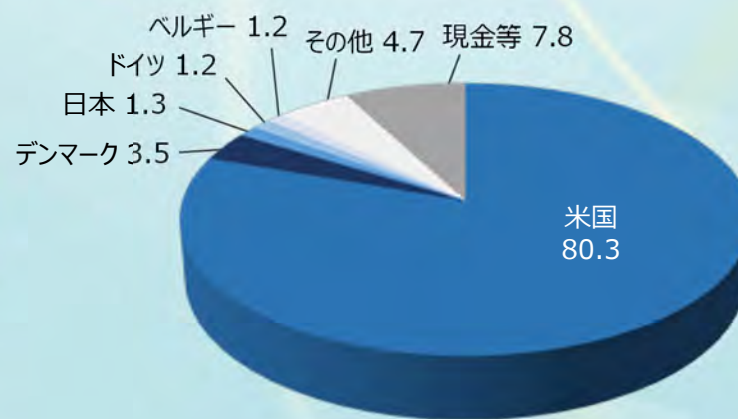


*2 規模別分類は時価総額ベースで
 大型株は200億米ドル以上。
 中型株は100億米ドル以上、200億米ドル未満。
 小型株は3億米ドル以上、100億米ドル未満。
 超小型株は3億米ドル未満。

業種別構成比率 (%)



国別構成比率 (%)



(注) 規模別構成比率、業種別構成比率、国別構成比率は、当ファンドの純資産総額を100%として計算。四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。
 (出所) カンドリアム、フィデリティ、Bloomberg

※ 上記は2020年5月末現在の当ファンドのポートフォリオ概要であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

組入上位10銘柄 (2020年5月末現在)

(組入銘柄数 140)

組入順位	銘柄	国	企業概要	組入比率 (%)
1	ベルテックス・ファーマシューティカルズ	米国	感染症、神経疾患、がん等の治療薬を開発	5.1
2	バイオジェン	米国	独立系バイオ医薬品企業の老舗	4.0
3	リジエノン・ファーマシューティカルズ	米国	アトピー性皮膚炎、眼疾患等の治療薬を開発	3.5
4	ギリアド・サイエンシズ	米国	HIVや肝炎、がん治療等のバイオ医薬品を開発	3.5
5	アムジェン	米国	世界最大級のバイオ医薬品企業	3.1
6	サーモフィッシャーサイエンティフィック	米国	世界最大規模の科学機器・試薬メーカー	3.0
7	ベクトン・ディッキンソン	米国	世界大手の医療機器企業	2.7
8	ボストン・サイエンティフィック	米国	低侵襲医療機器を中心とした医療機器企業	2.3
9	アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	超希少疾患を対象に、専門治療薬を開発	2.3
10	ジェンマブ	デンマーク	がん治療用の抗体医薬品を開発	2.1
組入上位10銘柄の組入比率				31.5

(注1) 左表の白色背景の銘柄はバイオテクノロジー株式戦略の銘柄、青色背景の銘柄は医療機器関連株式戦略の銘柄。

(注2) 右グラフの売上高のデータは、2016年～2022年の各決算期。2020年以降は、2020年5月末現在のBloomberg予想。

(出所) Bloomberg、各種資料

※ 上記は過去の実績および将来の予想であり、当ファンドの将来の運用成果および当該銘柄の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ベルテックス・ファーマシューティカルズ



- 米国のバイオ医薬品企業。マサチューセッツ州サウスボストンの一角に本社を構え、英国そしてカナダにも研究所を持つ。
- 嚢胞性線維症*、がん、炎症性腸疾患、自己免疫疾患、および神経疾患の治療薬を開発。

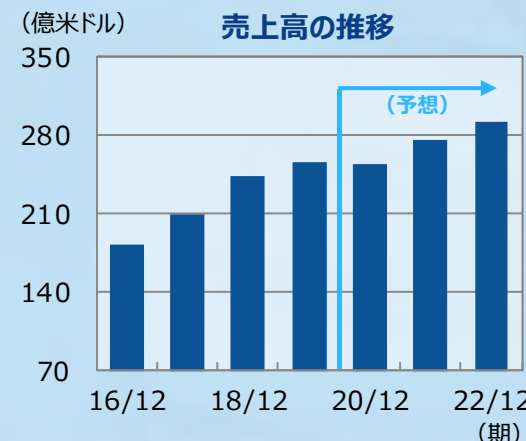
* 嚢胞 (のうほう) 性線維症 (CF) は、主に消化器系と呼吸器系を侵す外分泌腺の遺伝性疾患。慢性肺疾患、膵外分泌機能不全、肝胆道疾患および汗の電解質濃度の異常高値を引き起こす。



サーモフィッシャーサイエンティフィック



- 製薬やバイオテクノロジー企業、大学や政府、病院等に各種分析機器や検査機器、試薬等を提供。
- 試薬等の消耗品への安定的な需要に加え、新興国での売上拡大、M&Aの実施等により、成長を目指す。



組入銘柄の例示を目的とするものであり、上記の銘柄を推奨するものではありません。

※ 写真はイメージです。

投資対象とする外国投資信託の運用会社のご紹介

- バイオテクノロジー関連企業への投資は、カンドリアム・インベスターズ・グループのカンドリアム・ベルギー・エス・エーが行います。

カンドリアム・インベスターズ・グループについて

- カンドリアム・インベスターズ・グループは、ブリュッセル、パリ、ルクセンブルグを主な拠点とする欧州有数の運用会社です。
- 従業員数は555名、運用資産残高は1,276億ユーロ（約15兆円）です。



※ 従業員数、運用資産残高ともに2020年6月末現在。運用資産残高は同時点の為替レート（1ユーロ=121.23円）で円換算。

カンドリアム バイオテクノロジー株式戦略について

- グローバル・テーマ株式運用チームは20年以上にわたって、ヘルスケア、バイオテクノロジー、デモグラフィ、ロボティクスなどの運用を手掛けています。
- カンドリアム・ベルギー・エス・エーが運用するバイオテクノロジーファンドは、グローバル・テーマ株式運用ヘッドのルディ・バンデン・アインデが2000年の運用開始以来、運用を担当しています。また、バイオテクノロジー分野の博士号を有する3名のバイオテクノロジー・アナリストを含めた4名のチームにより運用を行います。

(注1) 右グラフのデータは、2001年12月末～2020年6月末。

(注2) 代表ファンドは、カンドリアムのバイオテクノロジー株式戦略の代表ファンド（Candriam Equities L Biotechnology（米ドル建て、費用等控除前））。バイオテック株式はNASDAQバイオテクノロジー指数、世界株式はMSCI AC World指数。いずれも配当込み、米ドルベース。

(出所) Bloomberg、カンドリアム

※ 上記は代表ファンドの過去の実績であり、当ファンドが投資対象とする外国投資信託の運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 上記の受賞歴は代表ファンドにかかるものであり、当ファンドが投資対象とする外国投資信託が受賞したものではありません。当該運用評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

代表ファンドのパフォーマンス（米ドルベース）



代表ファンドの受賞歴

外部評価機関*より、7年連続で最優秀ファンドを受賞

- 2014年～2020年 ドイツ
株式部門 バイオテクノロジー 運用期間10年以上 最優秀ファンド



2018
THOMSON REUTERS
LIPPER FUND AWARD
GERMANY

* リッパー・ファンド・アワード

投資対象とする国内籍投資信託の運用会社のご紹介

- 医療機器関連企業への投資は、フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシー*¹が行います。

フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシーについて

(組入れファンドの実質的な運用会社)

- フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシーは、北米の投資家向けの資産運用サービス、およびFMR LLC*²が提供する株式、ハイ・イールド債券、債券、マネー・マーケット、オルタナティブを含む全ての主要資産クラスを対象としたミューチュアル・ファンド商品群の運用を行っています。

設立	1946年
運用資産総額	2兆7,826億米ドル (約300兆円)
従業員数	約40,000名以上
運用プロフェッショナル	約720名

※2020年3月末現在。運用資産総額は同時点の為替レート（1米ドル=107.78円）で円換算。

*1 フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニーから社名変更されています。

*2 FMR LLCは、米国を拠点に様々な金融サービスを提供する会社で、フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシーの親会社です。

フィデリティ投信について

(組入れファンドの運用会社)

- フィデリティ投信は、フィデリティ・インターナショナル傘下の運用会社です。
- フィデリティ・インターナショナルは、米国フィデリティ・インベスメンツの国際投資部門として1969年に設立され、1980年に米国フィデリティ・インベスメンツから独立。現在はアジア太平洋、欧州、中近東、南アメリカにおいて投資家向けに資産運用サービスを展開しています。

※上記は代表ファンドの過去の実績であり、当ファンドが投資対象とする国内籍投資信託の運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

フィデリティ医療機器関連株式戦略について

- 運用チームは、豊富な運用経験を持つグローバルにまたがる専門調査メンバーを有します。チーム内には、ヘルスケア分野の博士号取得者も在籍します。
- 運用は医療分野で世界的に名高い研究機関・大学が多いボストンで行っています。業界最先端の情報や今後の動向を把握しやすい拠点として、チームの高い運用能力につながっています。

代表ファンドのパフォーマンス（米ドルベース）



(注1) グラフは2001年12月末から2020年6月末。

(注2) 代表ファンドは、フィデリティの医療機器関連株式戦略の代表ファンド（Select Medical Technology and Devices Fund（米ドル建て、費用等控除前））。医療機器関連株式はMSCI AC Worldヘルスケア機器 & サービス指数、世界株式はMSCI AC World指数。いずれも配当込み、米ドルベース。

(出所) Bloomberg、フィデリティ

ファンドの特徴

1

主として、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式に投資します。

- ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

バイオテクノロジー関連企業とは

生命工学技術を応用して医薬品の開発を行うバイオテクノロジー企業の他、遺伝子検査や科学・実験機器関連の企業などを指します。創業期など初期のステージにある企業から安定的な成長を確立した企業の株式まで幅広く投資を行います。

医療機器関連企業とは

医療関連の機器、設備、技術等を提供する企業を指します。

2

実質的な運用はカンドリアム・ベルギー・エス・エーとフィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシーの2社が行います。

- バイオテクノロジー関連企業の株式への投資は、カンドリアム・ベルギー・エス・エーが運用する「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（スクラス、円建て）」を通じて行います。
- 医療機器関連企業の株式への投資は、フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシーが実質的に運用する「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」を通じて行います。
- バイオテクノロジー関連企業の株式、医療機器関連企業の株式への投資割合は、概ね7：3を基本とします。

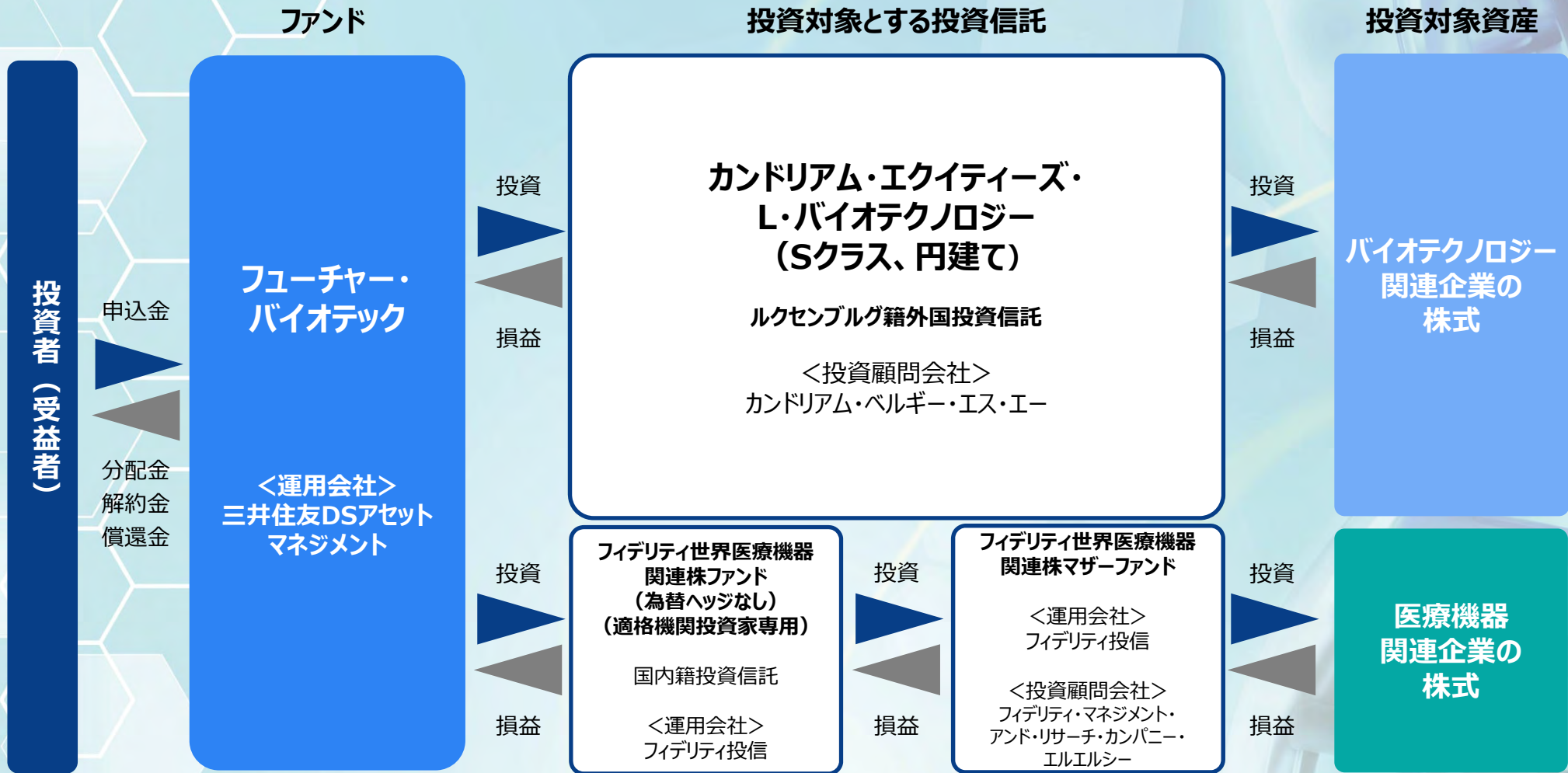
3

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのしくみ

- ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。



※ 「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー (Sクラス、円建て)」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」の組入比率を原則として高位に保ちます。したがって、ファンドの実質的な主要投資対象は、バイオテクノロジー関連企業、医療機器関連企業の株式となります。

ファンドのリスクおよび留意点①

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 価格変動リスク

● 株式市場リスク…株式の価格の下落は、基準価額の下落要因です

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

● 信用リスク…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク…円高は基準価額の下落要因です

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ カントリーリスク…投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク…市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です

ファンドの資金流入出に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

ファンドのリスクおよび留意点②

分配方針および分配金に関する留意事項

その他の留意点

■ファンド固有の留意点

●特定の業種・テーマへの集中投資に関する留意点

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。

■投資信託に関する留意点

- ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

分配方針

- 年1回（原則として毎年6月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。
- 分配対象額は、経費控除後の利子・配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

お申込みメモ

(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

購入・換金の 申込受付日	原則として、申込不可日を除きいつでも購入・換金のお申込みができます。
購入単位	お申込みの販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ●ルクセンブルクの銀行の休業日 ●ルクセンブルクの銀行の休業日の前営業日 ●ニューヨークの銀行の休業日 ●ニューヨークの取引所の休業日
決算および分配	年1回(毎年6月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
信託期間	無期限(2018年6月25日設定)
繰上償還	以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ●繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ●残存口数が30億口を下回るようになったとき ●その他やむを得ない事情が発生したとき
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA(ニーサ)」の適用対象です。なお、販売会社によっては、NISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

ファンドの費用等

(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

■ ファンドの費用

① 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3% (税抜き3.0%) を上限 として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
--------	---

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に 年1.232% (税抜き1.12%) の率を乗じた額。 ※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、 年1.97874% (税抜き1.8434%) 程度* となります。 *投資対象とする投資信託の運用管理費用は、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
------------------	---

その他の費用・ 手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ●監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ●資産を外国で保管する場合の費用等 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
----------------	---

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■ 委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図等を行います。)
------	--

受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンドの財産の保管および管理等を行います。)
------	--

販売会社	委託会社にお問い合わせください。(ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。)
------	---

販売会社一覧 (2020年7月31日現在)

販売会社名	登録番号		日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	備考
藍澤証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○		○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○	
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○		○	○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第6号	○				
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○				
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○				
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○				
播陽証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第29号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○				
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○			○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○				
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○			○	
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○				
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○				
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○		○	

重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 ご不明な点は下記にお問い合わせください。
＜コールセンター＞ 0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
＜ホームページ＞ <https://www.smd-am.co.jp>

フューチャー・バイオテック

イメージ動画配信中
右のQRコードからアクセスしてください

※ 三井住友DSアセットマネジメント
作成の動画が再生されます。

